

- 小河内など遠い場所では、支援が必要な高齢者の独居は困難だと思う。
- 緊急相談通報システムがあり、病気の際に救急なのかどうかの相談ができる。またリズムセンサー等の見守りシステムがある。
- 日中独居も多く、また、認知症高齢者の徘徊の心配がある。
- ささえあいボランティアは良い仕組みだが、病院等の待ち時間までお金を頂くと高額になり可哀そう。相対での現金の受け渡しの難しさを感じる。

関係職員（町、社協）

【町の福祉全般】

- ケアマネの立場からは、子どもにはやさしい町ではあるが、高齢者にはどうかという懸念がある。
- 高齢者へのサービスについて、例えば入所待機率など強みもあり、そうしたことのPRも必要。
- ささえあいボランティアなどの新しい取り組みを周知していく必要性を感じる。
- 何をするにも送迎の不便さが課題となる。

【健康づくり・交流等】

- 高血圧の方が多く、医療費の伸びを抑えるため介護予防、特定健診等を実施しているが広報で呼びかけても効果が低い状況にある。
- 山葵塾を開催していたが、卒業生の方の山葵畑の確保が難しい。
- 直売グループ等が活動している。また、アースガーデン等にコーナーがある。
- 健康づくりの観点からウォーキングなどの活動はお勧めである。また、休耕地バンク等の設置により野菜づくりに結び付けるなども考える。

【新しい生活支援サービス】

- 新しい総合事業の展開が課題となる。
- 団塊の世代の高齢化が大きな課題であるが、今後、担い手化に取り組み、介護予防につなげると同時に地域力で勝負していく方向を考える。
- 介護保険制度において新しい生活支援サービスを検討することとなるが、社協に地域の力を取り入れるよう期待したい。

【介護サービス】

- 介護サービスは民間事業者の参入が期待できず、全般に諸サービスが少ないと感じる。
- 高齢者の在宅の介護サービスは、例えばリハビリがなく、青梅市に通うなどで、選択肢が少ない。
- 奥の方に住んでいる方などを考えると、サービス付き高齢者住宅などもあり得るのではないか。

【障害者サービス】

- 総合支援法での知的ホームヘルプはあるが、難病・精神障害者へのホームヘルプサービスがなく、社協にお願いできればと考える。
- 作業所はあるが雇用は少ない。社協で事業所等の雇用先を見つけてもらいたい。
- 自立支援協議会もあるが、普段からのカジュアルな連携が大切だと思う。

【社協との連携】

- やまびこ計画において、新しい取り組みを進める際に、町はサポートしていきたい。
- 町の職員と社協の職員との話し合いは、以前に比べ不足していると感じる。
- 社協は利用者と直接に接しており、その状況を町に伝えてもらい、サポートをしていきたい。また、諸制度・サービスのPRをお願いしたい。
- イベント等は、顔見知りの声かけで集まるので、顔見知りの方によるPRが有効。